

富山大学薬学部 学生後援会

令和8年度（第29回）総会

令和8年4月8日（水）午後2時30分より

富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター 日医工オーディトリウム

次 第：

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 令和7年度事業報告 (p. 2)
 - 5-2. 令和7年度会計報告 (p. 11)
監査報告 (p. 13)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 14)
 - 5-4. 令和8年度事業予定（案）審議 (p. 15)
 - 5-5. 令和8年度予算（案）審議 (p. 20)
6. その他
 - 6-1. 学部生，大学院生の研究活動 (p. 22)
7. 閉会

総会終了後、御質問・御要望などに関して自由討論

参加人数

正会員（保護者様）は 23 組参加された。

教員は、松谷薬学部長、および学内理事（令和 7 年度および令和 8 年度教職員会員）含めて 10 名参加した。

1. 開会の辞

藤井理事から、開会の挨拶がなされた。

2. 会長挨拶

橋本会長から、以下の概要の挨拶がなされた。

新会長としての就任に際して、自己紹介がなされた。新しく入学された学生さんの保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および教職員理事各位への感謝の言葉を述べられた。また、学生後援会の活動について紹介された。最後に保護者・正会員のみなさまへの思いやりの言葉、そして今後の充実した学生生活に対しての願いを述べられた。

3. 学部長挨拶

松谷薬学部長から、以下の概要の挨拶がなされた。

保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および富山大学薬学部の学生教育の現状について述べられた。特に、薬学科および創薬科学科の両学科の違いについて、入学定員、アドミッション・ポリシー、卒業・修了後の進路の観点で説明がなされた。

(正会員（保護者）のみなさまからの質問)

なし

4. 議長選出

議長として、橋本会長が選出された。

5. 議事

5-1. 令和7年度事業報告

5-1-1. 令和7年度（第28回）総会

担当： 藤井

令和7年4月8日（火）の午後1時30分より、杉谷（医薬系）キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーデトリウムにて令和7年度総会を執り行いました。令和6年度の事業（総会、国家試験対策、TOEIC 受験支援、卒論発表会支援、サークル援助、奨学資金援助、広報、保護者懇談会、入会状況）および決算が承認されました。また令和7年度の正会員理事13名、教職員会員理事8名、正会員監査1名、教職員会員監事1名が承認されました。さらに令和7年度の事業計画案および予算案は、原案のとおり承認されました。

令和7年度事業報告

担当理事により、各種事業報告がなされた。恒枝理事から後援会奨学金の通帳の名義変更が完了した旨の報告があった。名義変更の際に、規約に創設年月日の記載が必要であったため、規約の改訂を行い、2026年3月31日の学内理事会で承認された旨の説明がされた。

5-1. 令和7年度事業報告（続き）

5-1-2. 課外教育援助①（国家試験対策）

担当：李

結果

薬学部6年制導入後の第14期生が令和7年度に最終学年を迎え、令和8年2月21日及び22日に新卒者49名、既卒者9名、及びその他（旧4年制卒業者・受験資格認定者）7名が薬剤師国家試験を受験しました。先日3月25日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です（前々回全国合格率：68.43%，前回全国合格率：68.85%，今回全国合格率：68.49%）。

	富山大学			全国		
新卒	45名合格	(49名受験)	91.84%	6,711名合格	(7,781名受験)	86.25%
既卒	2名合格	(9名受験)	22.22%	2,013名合格	(4,871名受験)	41.33%
その他	3名合格	(7名受験)	42.86%	25名合格	(122名受験)	20.49%
計	50名合格	(65名受験)	76.92%	8,749名合格	(12,774名受験)	68.49%

対策

令和7年度に学生後援会として、薬学科6年生（49名）および博士課程薬剤師コース4年生（2名）向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール：講義(52コマ) 13日間，模擬試験(5回) 7日間
- ・ メディセレスクール社：模擬試験（1回） 2日間

第111回薬剤師国家試験対策 講義・模試日程

【講習会・模擬試験】

今年度	内容	講義室
5月7日(水)	ガイダンスⅠ(90分程度)	303
5月10日(土)	スタートアップ模試(薬ゼミ)	403
7月5、6日(土・日)	ステップアップ模試(薬ゼミ)	403
9月18、19日(木・金)	全国統一模擬試験Ⅰ(薬ゼミ)	403
11月10日(月)	ガイダンスⅡ+対策講義(治療)	看護10
11月13日(木)	対策講義(化学)	看護10
11月17日(月)	対策講義(衛生)	看護10
11月20日(木)	対策講義(物理)	看護10

11月25日(火)	対策講義(実務)	看護 10
11月27日(木)	対策講義(薬剤)	看護 10
12月1日(月)	対策講義(生物)	看護 10
12月4日(木)	対策講義(薬理)	看護 10
12月8日(月)	対策講義(法規)	看護 10
12月11、12日(木・金)	全国統一模擬試験Ⅱ(薬ゼミ)	看護 10
12月15日(月)	弱点克服講義(薬剤)	看護 10
12月18日(木)	弱点克服講義(実務)	看護 10
1月6、7日(火・水)	全国統一模擬試験(メディセレ)	看護 10
1月9日(金)	弱点克服講義(治療)	看護 10
1月13日(火)	弱点克服講義(薬理)	看護 10
1月20、21日(火・水)	全国統一模擬試験Ⅲ(薬ゼミ)	看護 10
2月21、22日(土・日)	第111回薬剤師国家試験	北陸大学

費用

- ・薬学ゼミナール（講義 52 コマおよび模擬試験 5 回を含む一式）： 3,096,720 円（税込）
 - ・メディセレスクール（模擬試験 1 回）： 269,280 円（税込）
- 総計： 3,366,000 円（税込）

国試対策の総額は 3,366,000 円でした。この総額 (3,366,000 円) を 51 名の受講者で負担し、一人あたり 66,000 円となりました。学生後援会入会の薬学部 6 年生に対しては、学生後援会より一人あたり 18,000 円を支援し、各受講者から 48,000 円/名を集金しました。また、博士後期課程 2 名は学生後援会からの援助は無いため、66,000 円/名を集金しました。これに加え、各受講者は講義用テキストを別途購入いたしました。

その他

2月21、22日に北陸大学太陽が丘キャンパスで行われた国家試験では、学生のほとんどが近畿日本ツーリストによるツアー（2泊3日）に参加し、金沢駅近くのホテルに宿泊して受験しました（旅行代金は一人あたり 43,700 円）。なおツアーに関しては、学生後援会は直接関与していません。

5-1. 令和7年度事業報告（続き）

5-1-3. 課外教育援助②（TOEIC 支援）

担当：横瀬

概要：TOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)は英語によるコミュニケーション能力を
検定する試験であり、大学院入試に用いられる他、企業が採用の際に参考にする場合があります。
学生後援会では、薬学部生（薬学科・創薬科学科双方）を対象としたTOEIC講習会・
IPテスト（杉谷キャンパスにて開催）などを、大学の英語教育にプラスして企画・実施して
います。そして創薬科学科の受講生・受験生に対してその費用を支援しています。

活動報告 (令和7年度)

1) 創薬科学科1,2年生へのTOEIC最新テキスト配布（令和4年度開始）

- ・早期からTOEIC対策に取り組めるよう、学生後援会入会済の創薬科学科1,2年生全員
に、最新の公式問題集（公式TOEIC Listening & Reading 問題集11）を配布しました。

経費： 学生後援会による支援（合計264,000円）： 問題集11（単価3,300円） 80名分

（備考） テキストは創薬科学科1,2年生の入会者数+ α として80部を発注し、未入会者への
入会を呼びかけつつ配布しました。最終的に未入会者、および休学・退学者は配布の
対象外とし、8冊の残余が生じました。

2) TOEIC講習会（令和7年9月29日（月） 9:00～15:00）

- ・外部講師（2講師，イーオン社）にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコ
ースの2クラス制で実施しました。令和6年度と同様に、Zoomを用いてオンラインで
実施しました。
- ・2クラスとも創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援しました。

実施状況：参加者4名（支援対象の学生4名、支援対象外0名）

(1) 入門コース：2名 創薬科学科2年：1名，3年：1名，4年：0名

使用教材：公式TOEIC Listening & Reading 問題集 11

(2) スコアアップコース：2名 創薬科学科2年：1名，3年：1名，4年：0名

使用教材：公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10*

（*昨年使用したテキストを利用することで、昨年入門コースを受講した
学生が負担金なくスコアアップコースを受講できるように配慮した）

経費： 1) 学生後援会による支援（合計223,520円）

（内訳）

入門コース授業料	5時間	22,000円/時間	金額 110,000円
添削費	2名	880円/名	金額 1,760円
スコアアップコース授業料	5時間	22,000円/時間	金額 110,000円
追加注文した教材費（問題集）	0冊	3,300円/冊	金額 0円
添削費	2名	880円/名	金額 1,760円

2) 支援対象外参加者の参加費等（令和6年度は該当なし）

講習会終了直後にメールにてアンケートを実施しました。（回答数：4名中 4名）

1. 満足度：大変満足 1名，おおよそ満足 3名，どちらでもない 0名，不満 0名
2. 難易度：非常に易しい 0名，少々易しい 2名，ちょうどよい2名，少々難しい 0名，難しい 0名
3. 開催時期：適切 4名，他の時期がよい 0名
4. 講習会の時間：長すぎる 0名，少々長い2名，ちょうどよい 2名，少々短い 0名
5. 次回の参加希望：入門コース 0名，スコアアップコース 2名，十分だ 2名

3) TOEIC-IPテスト 令和7年11月26日（木：予備・調整日）10：00～12：00実施

- ・薬学部の両学科対象で杉谷キャンパスにて実施しています。
- ・入会済みの創薬科学科学生に対して、受験料3,455円を2回分まで支援しています。
- ・令和6年度の支援対象人数：7名（創薬科学科2年：0名, 3年：1名, 4年：6名）

経費： 学生後援会による支援（合計24,185円）：受験料 3,455円 × 7名

5-1. 令和7年度事業報告（続き）

5-1-4. 課外教育援助③（学部1年生対象医療学研修支援）

担当：藤井

令和7年5月10日（土）、医学部・薬学部合同にて学部1年次生を対象とした医療学研修が実施されました。立山黒部アルペンルートの最高地点である室堂にて、学生さん達は医療的グループ課題に取り組みました。優秀なグループには景品が与えられ、その景品に関わる経費を医学部学生後援会と折半して提供した。なお、各学部の学生数を考慮し、薬学部学生後援会からは2,860円を提供しました。

5-1-5. 課外教育援助④（卒論発表会支援）

担当：藤井

令和8年2月13日（金）、薬学部4年次生を対象に令和7年度卒業研究発表会が行われました。今年度も昨年度と同様に、杉谷キャンパス体育館において対面形式にて開催となりました。創薬科学科の学生さんは約2年間取り組んだ卒業研究の集大成を、薬学科の学生さんは授業と臨床前実習などと併せて行った卒業研究の中間報告を、ポスターにまとめて発表しました。掲示されたポスターの前で、4年生の皆さんは教員および学部生・大学院生からの質問に対して回答し、活発な討論が繰り広げられました。また教員、大学院生、学部生（3年次生以上）による投票が行われ、創薬科学科生からは卒業論文最優秀発表賞1名と卒業論文優秀発表賞5名が、薬学科生からは優秀ポスター発表賞6名が選ばれ、賞状と副賞（薬学科生は賞状のみ）が贈られました。学生後援会では、課外教育支援の一環としてこれらの賞の経費を提供しました。

【令和7年度 - 決算】

1. 賞状・ビニール袋（靴入）	2,007 円	
2. 図書カード		
卒業論文最優秀発表賞	10,000 円	1 件×10,000 円
卒業論文優秀発表賞	25,000 円	6 件×5,000 円
合計	37,007 円	

5-1. 令和7年度事業報告（続き）

5-1-6. 学生教育推進費（学生実習援助）

担当：藤井

卓上型打錠機（生物系実習室）の修理

薬学部学生が受けている医療系実習において使用している卓上型打錠機（PICCOLA；エステックエンジニアリング）が故障し、製剤実習に使用する錠剤が作製できない状況であった。本学において代替できる打錠機が無いことから、修理する必要がありました。

本件につきまして、令和7年度の総会にてご承諾を得て修理を行いました。詳細は以下のとおりです。

- ・修理日：2025年4月22日
- ・援助額：333,300円



5-1. 令和7年度事業報告（続き）

5-1-7. 課外活動に対する補助金

担当：恒枝

令和7年度の課外活動に対する補助金を以下のように決定し支給しました。

団体名（体育系）	補助金額（円）	団体名（文化系）	補助金額（円）
バドミントン部	69,000	管弦楽団	39,000
養神館合気道部	12,000	茶道部	11,000
山岳部	17,000	救急医学勉強会 SALT	14,000
武田流中村派合気道部	10,000	軽音楽部	56,000
卓球部	40,000	ジャズ研究部	10,000
男子ハンドボール部	13,000	書道部	10,000
陸上競技部	16,000	ギターマンドリンクラブ	10,000
剣道部	20,000	小児科訪問サークル青い鳥	24,000
サッカー部	14,000	赭鞭会	66,000
水泳部	19,000	三曲会	10,000
ストリートダンス部	24,000	国際医療研究会	23,000
弓道部	54,000	医学薬学祭実行委員会	70,000
女子バレーボール部	10,000		
男子バスケットボール部	20,000		
ウインドサーフィン部	19,000		
		合計	700,000

5-1-8. 奨学資金援助

担当：恒枝

令和7年度の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は22名です。

5-1. 令和7年度事業報告（続き）

5-1-9. 広報

担当：山田

薬学部ホームページも活用してリニューアルした学生後援会のホームページを紹介しつつ、引き続きホームページでの案内を中心として後援会活動の報告等を活発に行います。

（新）富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-1-10. 保護者懇談会

担当：藤井

令和7年10月18日（土）の午後2時より杉谷キャンパスにおける大学祭（医学薬学祭）の開催期間に合わせて、杉谷キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーディトリウムにて開催しました。

5-1-11. 入会状況

担当：藤井

令和7年度の新規加入者は110名（新入生薬学科75名中70名、新入生創薬科学科41名中36名、在学生薬学科3名、在学生創薬科学科1名）でした。また、令和8年度入学者の入会を受け付けました。未入会の方には、総会および保護者懇談会の案内状送付時および3年次以降に研究室配属が決定した後に、本会の趣旨をお伝えしつつ入会して頂くようお願いしております。

5-2. 令和7年度会計報告

担当：横山

令和7年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通り報告致します。
(自 令和7年3月1日 ～ 至 令和8年3月17日)

収支決算報告書

表 1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 2. 緊急対策会計収支報告

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>

5-3. 新役員の選出

担当：大石

令和8年度役員名簿

理事（正会員）

会長：橋本 恵子	(薬学科)	副会長：鶴居 正美	(薬学科)
理事：中野渡 志穂	(薬学科)	理事：飯島 弥生	(薬学科)
理事：本田 絵里	(薬学科)	理事：齋藤 正樹	(薬学科)
理事：稲垣 喜文	(薬学科)	理事：松浦 智早	(創薬科学科)
理事：葛西 禎之	(創薬科学科)	理事： <u>岡田 雅代</u>	(薬学科)
理事： <u>佐伯 光一</u>	(薬学科)	理事： <u>鶴 公恵</u>	(薬学科)

理事（教職員会員）

副会長：	松谷 裕二	(薬学部長)
庶務：	大石 雄基	(薬化学)
入会・人事：	<u>谷本 裕樹</u>	(生体認識化学)
課外教育 国家試験：	山田 強	(薬品製造学)
課外教育 TOEIC 講習：	横瀬 淳	(薬物治療学)
課外活動・奨学資金：	恒枝 宏史	(臨床薬品作用学)
会計：	<u>赤沼 伸乙</u>	(薬剤学)
広報：	<u>歌 大介</u>	(応用薬理学)

監事

監事（正会員）	<u>中村 京介</u>	(薬学科)
監事（教職員会員）	<u>歌 大介</u>	(応用薬理学)

(下線は新任)

学内外の新理事、監事について、承認された。

5-4. 令和 8 年度事業予定（案）審議

5-4-1. 課外教育援助①（国家試験対策支援，薬学科 6 年生対象）

担当：山田

令和 8 年度は、新カリキュラム導入後の第 16 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

令和 8 年	5 月上旬頃	国家試験についてのガイダンス
	5 月頃	スタートアップ模試（薬学ゼミナール）
	7 月上旬頃	ステップアップ模試（薬学ゼミナール）
	9 月頃	全国統一模擬試験Ⅰ（薬学ゼミナール）
	11 月頃	予備校講師によるガイダンス
	11～12 月頃	予備校講師による講習会
	12 月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ（薬学ゼミナール）
令和 9 年	1 月上旬頃	模擬試験（メディセレスクール）
	1 月中旬頃	予備校講師による講習会
	1 月下旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ（薬学ゼミナール）
	2 月下旬	第 111 回薬剤師国家試験

令和7年度の第111回国家試験は、全体としての難易度は近年の国試と同程度となりました。「必須問題」の難易度は平易でした。出題の傾向として、「臨床との繋がりを意識した問い」や「薬剤師に求められる職能に関する問い」が多く出題されてきました。「理論問題」の難易度は全体としては第110回と同程度となりました。薬理・治療による連問が多い傾向が続いています。初出題医薬品や遺伝子治療に関する問いなど、医療の進歩に対応する問題の出題も継続して出題されています。また、身近な生活に係る内容についての新傾向問題として「血糖値変化」の違いをグラフで読み解く問題や、「医薬部外品」に関する問題が新たに出题されました。物理・化学・生物・衛生・薬剤を中心として、視覚的な情報を読み解いて考察し、解答を導く問題も継続して出題されています。「実践問題」は第110回に比べて若干難化しました。第110回にみられるような4連問の出題はなく、実務単問の範囲に実務、実務の連問が1題でした。一方、昨年に継続して医師へ薬剤選択などを提案する問題が出題されています。患者背景を読み取ることに加えて、「妊娠を希望している」といった患者の希望をくみ取って対応する問題が新たに出题されました。その他、話題になった時事に関連する問題・「制御性T細胞（2025年ノーベル生理学・医学賞）」に関連する問題、「 α -トルイジン」や「MOCA」など芳香族アミンによる膀胱がん（労災の事例）、「経口避妊薬」の問題（実務）が出題されました。

全体として、受験生が基本的な知識をしっかりと身につけていれば、得点しやすい試験だったと言えます。したがって、学生には早期から地力を付けるとともに、各分野の必須問題の知識が統合的・実践的な問題として出題されることを念頭に試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して実務実習に臨むよう指導する予定です。令和8年度の国家試験対策は、過去の対策を踏襲し、より充実した対策が行えるよう努めてまいります。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 令和8年度事業予定（案）審議（続き）

5-4-2. 課外教育援助②（TOEIC 支援）

担当：横瀬

令和8年度は、以下のようにTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う予定です。

活動予定

1) 創薬科学科1, 2年生へのTOEIC最新テキスト配布

- ・ 学生後援会入会済の創薬科学科1, 2年生全員に、最新の公式問題集（公式TOEIC Listening & Reading 問題集12）を配布予定です。

2) TOEIC講習会（令和8年 8 or 9 or 11月のいずれかを予定）

- ・ 外部講師（2講師，イーオン社）による入門&スコアアップコースの2クラス制で実施します。本年度は対面による実施も含めて検討します。使用教材については、入門コースは最新の問題集12、スコアアップコースは令和7年度に入門コースで使用した問題集11の予定です。
- ・ 創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援します。
- ・ 平成30年度より、学部 2年生も受講（支援）対象としています。TOEIC活動周知を徹底して、参加者増（特に学部 2年生）を目指します。

3) TOEIC-IPテスト（薬学部対象：令和8年 11月 杉谷キャンパスにて実施予定）

- ・ 学生後援会から、創薬科学科学生の受験費（2回まで）を支援します。

* TOEIC対策についての周知

- ・ 年度始めのガイダンスにて、両学科学生への周知徹底を図ります。
- ・ 必修科目の授業後にアナウンスを行うなど、効果的な周知を行います。

* 今後の課題→参加者数増

- ・大学院入試の出願時に外部英語試験（TOEIC等）のスコアが必要となるため、TOEICの対策を早期に行い、スコアアップする重要性を周知します（大学院入試ではTOEIC730点を満点と換算します）。
- ・薬学科の学生も製薬企業等への就職や進学の際、多くの場合においてTOEICスコアが必要なため、年度始めのガイダンス等で周知し、TOEIC対策への積極的な参加を促します。
- ・学生にとって受講、受験しやすい日程を考慮して、参加者増に努めます。
- ・（重要）令和8年度より、必修科目である「専門英語 II」の単位認定条件として、3年次後期大学主催のTOEIC-IPテストスコアが450点以上と改定されたことを周知します。

5-4. 令和8年度事業予定（案）審議(続き)

5-4-3. 課外教育援助③（卒論発表会支援）

担当：大石

令和9年2月に薬学部4年次生を対象として開催される卒業研究発表会において、例年通り援助を行います。

5-4-4. 学生教育推進費（学生実習援助）

担当：大石

本年度は、学生実習にて薬学部生全員が利用する、デジタルホットプレートスターラーを購入する予定です。

経緯

一昨年の震災でホットプレートスターラー10台が破損しました。大学本部を通して文部科学省に被害報告するも全く支援をいただけず、新たな装置の購入ができない状況にあります。昨年度と今年度の実習は研究室所有のスターラーを利用するなど、なんとか工面しましたが、残っている装置の老朽化も進んでおり、新たなホットプレートスターラーの購入を必要としています。



見積もり額 (2026年1月時点)

365,904 円

5-4-5. 課外活動援助

担当：恒枝

例年通り、各課外活動団体からの申請がありましたら、薬学部学生の所属数に基づいて、既定の範囲内で援助を行います。

5-4-6. 奨学資金援助

担当：恒枝

新たに奨学資金援助を希望する者には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う予定です。

5-4-7. 広報活動

担当：歌

薬学部ホームページも活用してリニューアルした学生後援会のホームページを紹介しつつ、引き続きホームページでの案内を中心として後援会活動の報告等を活発に行います。

(新) 富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-4-8. 保護者懇談会の開催

担当：大石

杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、令和8年10月17日(土)に開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

5-4-9. 令和9年度総会の開催

担当：大石

令和9年度の入学式に合わせて、総会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

以上、令和8年度事業計画が各担当より説明された。

表 4. 学生後援会本会計予算 (案)

<略>

表 5. 緊急対策会計予算 (案)

<略>

表 6. 奨学資金会計予算 (案)

<略>

以上、令和 8 年度予算案が、原案通り承認された。

6. その他

6-1. 学部生、大学院生の研究活動

担当：大石

学会での受賞等（薬学部同窓会誌「遠久朶」第 103 号（令和 8 年 2 月発刊）より抜粋、学年は受賞時）

- 卒業論文最優秀発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
渡邊 なつみ（創薬科学科 4 年；病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室）
- 卒業論文最優秀発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
秋月 彩（創薬科学科 4 年；生体界面化学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
大嶋 駿（創薬科学科 4 年；生体界面化学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
増川 尊久（創薬科学科 4 年；附属病院薬剤部研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
加藤 優奈（創薬科学科 4 年；分子神経生物学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
戸田 千尋（創薬科学科 4 年；薬物生理学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
寺尾 樹（創薬科学科 4 年；複雑系解析分野研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
畠山 智行（薬学科 4 年；生体界面化学研究室）

- 優秀ポスター発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
芳賀 駿介（薬学科 4 年；薬化学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
西澤 真由（薬学科 4 年；がん細胞生物学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
長田 卓也（薬学科 4 年；生体防御学領域）
- 優秀ポスター発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
田口 瑛士（薬学科 4 年；複雑系解析分野）
- 優秀ポスター発表賞（令和 6 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 7 年 2 月
田中 優希（薬学科 4 年；病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室）
- 学長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
児玉 依吹（薬学部 6 年；附属病院薬剤部研究室）
- 学長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
樋口 朋香（創薬科学科 4 年；薬化学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
鈴木 恭平（薬学科 6 年；複雑系解析分野）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
槌本 侑平（薬学科 6 年；複雑系解析分野）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
明神 慎人（薬学科 6 年；医療薬学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
山下 息吹（創薬科学科 4 年；生体界面化学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
坂下 孔明（創薬科学科 4 年；生体防御学領域）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
戸田 千尋（創薬科学科 4 年；薬物生理学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
中村 拓未（創薬科学科 4 年；応用薬理学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 6 年度卒業式） 令和 7 年 3 月
船橋 駿友（創薬科学科 4 年；応用薬理学研究室）
- ポスター賞（第 145 回日本薬学会年会） 令和 7 年 3 月
小澤 勇介（博士前期課程 2 年；分子細胞機能学研究室）
- 学生優秀発表賞（ポスター発表の部）（日本薬学会第 145 年会） 令和 7 年 3 月
尾山 雅弥（博士前期課程 2 年；薬品製造学研究室）
- Graduate Student Presentation Award（APPW2025） 令和 7 年 3 月
平松 元気（博士後期課程 3 年；応用薬理学研究室）

- Undergraduate Poster Award (APPW2025; 第 130 回日本解剖学会・第 102 回日本生理学会・第 98 回日本薬理学会 合同大会) 令和 7 年 3 月
末上 亜理沙 (薬学科 5 年; 神経機能学領域)
- 永井記念薬学国際交流財団 大学院学生スカラシップ (日本薬剤学会第 40 年会) 令和 7 年 5 月
島田 陸斗 (博士前期課程 2 年; 医療薬学研究室)
- The President's Special Student Encouragement Award (年会長推薦発表賞) 令和 7 年 6 月
高桑 美帆 (博士課程 1 年; 薬物治療学研究室)
- JSNP Excellent Presentation Award for CINP-AsCNP 2025 (若手研究者発表賞) 令和 7 年 6 月
高桑 美帆 (博士課程 1 年; 薬物治療学研究室)
- BCSJ award (学生口頭発表賞) (第 22 回 ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム) 令和 7 年 6 月
西沖 航平 (博士課程 4 年; 薬化学研究室)
- 学生ベスト発表賞 (日本生化学会北陸支部第 43 回大会) 令和 7 年 6 月
高橋 奈々 (薬学科 6 年; がん細胞生物学研究室)
- 学生賞 (日本膜学会第 47 年会) 令和 7 年 6 月
沖野 友香 (薬学科 6 年; 生体界面化学研究室)
- 学生優秀発表賞 (第 48 回日本基礎老化学会) 令和 7 年 6 月
薬師寺 芽生 (薬学部薬学科 4 年; 和漢医薬学総合研究所未病分野)
- Best Discussant 賞 (北信がんプロ大学院生交流セミナー) 令和 7 年 6 月
高橋 奈々 (薬学科 6 年; がん細胞生物学研究室)
- 優秀発表賞 (口頭発表の部) (第 42 回和漢医薬学会学術大会) 令和 7 年 8 月
鄭 在媛 (博士課程 2 年; 神経機能学領域)
- 優秀発表賞 (口頭発表の部) (第 42 回和漢医薬学会学術大会) 令和 7 年 8 月
末上 亜理沙 (薬学科 6 年; 神経機能学領域)
- 優秀発表賞 (口頭発表の部) (第 42 回和漢医薬学会学術大会) 令和 7 年 8 月
坂瀬 きの (薬学科 4 年; 神経機能学領域)
- 優秀ポスター発表賞 (生体機能と創薬シンポジウム 2025) 令和 7 年 8 月
山根 拓也 (博士後期課程 2 年; 応用薬理学研究室)
- 若手優秀演題賞 (第 99 回日本糖尿病学会中部地方会) 令和 7 年 9 月
佐野 翔太 (博士前期課程 2 年; 病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室)
- Best Poster Presentation Award (第 50 回製剤・創剤セミナー) 令和 7 年 9 月
古瀬 彩理紗 (博士前期課程 2 年; 製剤設計学研究室)
- Best Poster Presentation Award (第 50 回製剤・創剤セミナー) 令和 7 年 9 月
佐々木 駿太 (博士前期課程 2 年; 製剤設計学研究室)

- 優秀発表賞（ポスター学生枠）（第 68 回日本神経化学学会大会） 令和 7 年 9 月
竹内 耕聖（工学部 4 年；神経機能学領域）
- 未知に挑む女性研究者賞・奨励賞女性研究者部門 令和 7 年 10 月
高桑 美帆（博士課程 1 年；薬物治療学研究室）
- ポスター賞（第 3 回脳科学研究交流会） 令和 7 年 10 月
野口 泰一（創薬科学科 4 年；薬物治療学研究室）
- 優秀発表賞（第 76 回日本薬理学会北部会） 令和 7 年 10 月
安藤 沙耶乃（薬学科 5 年；応用薬理学研究室）
- 若手優秀発表賞（第 47 回日本生物学的精神医学会・第 35 回日本臨床精神神経薬理学会・第 55 回日本神経精神薬理学会合同年会：BPCNPNP 合同年会） 令和 7 年 11 月
高桑 美帆（博士課程 1 年；薬物治療学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
青山 音哉（博士前期課程 2 年；和漢医薬学総合研究所未病分野）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
細矢 真吾（博士前期課程 1 年；薬物生理学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
小口 勇輝（博士前期課程 1 年；がん細胞生物学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
丸山 陽平（博士前期課程 1 年；がん細胞生物学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
小林 奏一郎（薬学科 6 年；分子細胞機能学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
安藤 沙耶乃（薬学科 5 年；応用薬理学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
速水 謙輔（創薬科学科 4 年；神経機能学領域）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 137 回例会） 令和 7 年 11 月
安部 佑香（博士課程 1 年；薬品製造学研究室）
- 学生優秀発表賞（第 46 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム） 令和 7 年 11 月
佐藤 佑（博士前期課程 2 年；生体界面化学研究室）
- 口頭発表賞（第 13 回韓日中生薬学会合同シンポジウム） 令和 7 年 11 月
Saw Yu Yu Hnin（博士後期課程 3 年；天然物創薬学領域）
- Ursula and Fritz Melchers Travel Award（第 54 回日本免疫学会学術集会） 令和 7 年 12 月
佐藤 綾香（博士後期課程 2 年；分子細胞機能学研究室）
- 若手研究奨励賞（第 36 回 分子糖尿病学シンポジウム） 令和 7 年 12 月
渡邊 なつみ（博士前期課程 1 年；病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室）

会場からのご質問・ご意見について

なし

総会終了後

希望者を対象に薬学部施設の見学会が実施された。2つの小グループに分かれ、赤沼理事および山田理事による学内ツアーが行われた。なお、民族薬物資料館のご紹介は糸先生に行って頂き、薬用植物園は李理事が紹介された。